

# 令和7年度 施政方針

夢・希望・未来ある町に!!  
多良木アップデート

はじめに

本町は、町村制施行に伴い明治22年、初代淵田勇蔵村長の「多良木を上球磨の中心都市にする」との計画をもとに町づくりが進められ、その意は1300年を超えて受け継がれ、球磨人吉地域で確固たる地位を築き、発展してまいりました。

近年、人口減少と少子高齢化が未来に大きな不安感を与えています。昭和22年から過去最高の約270万人が生まれた昭和24年の第1次ベビーブーム、毎年約200万人が生まれた昭和46年から昭和49年の第2次ベビーブームがありました。平成28年には100万人を割り、現在では70万

人台。厚生労働省の令和6年速報値では、統計を取り始めて最も少ない72万人でした。亡くなられる方は約150万人でしたが、令和6年の速報値では161万人とさらに増えたことがわかります。

本町では、出生数約30人に対して毎年約180人が亡くなられています。昭和30年の旧多良木町、久米村、黒肥地村が合併した時には約2万人いた人口が、すでに1万人を割り込み現在約8300人です。2050年には4000人台になりそうですが、それも通過点に過ぎませんし、高齢化率はさらに高まっています。また、今年30人生まれたとして、その子どもたちが高校を卒業する頃に50人や100人に増えることは考えられず、言い換えれば可視化できる部分です。

球磨人吉地域では、高校を卒業する生徒約550人のうち卒業後に地元に残るのは1割に満たない約50人しか残らないのが現状です。本町に当てはめると今年度誕生した子どもたちが高校を卒業する時には3人ほどしか残らないことになりそうです。現在ですが、今後は15歳から64歳の社会の中核を担っていく生産年齢人口は減り続け、人口ピラミッドは支えのないワイングラスのような形になるの

ではと考えています。

周辺地域や身の回りでは、労働力不足、医療と介護の人手不足、消費者の中心が高齢者、マーケット縮小、税収減、行政力低下、空き家増、国民健康保険や水道料金の値上げ、消防団確保の問題、交通や買い物困難になる人の増加など見込まれ、生産年齢人口が少なくなるというところは新しく家を建てる人も減少していくと考えられ、物流関係では運転手不足もすでに起こっています。

## 多良木町のポテンシャル

本町は農業と林業が基幹産業です。また、幸いにして安心安全の要になる多良木警察署、上球磨消防組合、公立多良木病院が立地しています。さらに、上球磨の中心

多良木町長  
石井 淳一



で球磨郡の雄と言われた町だけあって、医療、介護、建設、酒造、製造、スーパー、飲食店、タクシー、ガソリンスタンドなどの各種業態も多く、暮らしに欠かせないものも揃っているのも大きな特徴です。新卒、Uターン、Iターン、転職組の働く場所の選択肢も数多くあります。視野を広げるならば、本町に住んでいただき球磨人吉の企業や事業所に勤務することもできます。歴史的魅力もあり、教育環境も子育て支援策も整備され、不便さは少なく暮らしやすい地域であると考えます。

公立多良木病院で働く人は約420人、外来は1日約380人が毎日800人が行き来します。

年間では約29万人。新型コロナウイルス禍で22万人に落ち込みましたが、令和元年度の観光客数は約33万人で、そのほかにも多くの企業や事業所、学校もあることから合計した数字はもっと大きく膨らむはず。

また、上球磨地域の水上村では陸上長距離のスポーツ合宿事業を展開され、箱根駅伝を制した青山学院大学を筆頭に、強豪で知名度の高い実業団、大学、高校の選手延べ約1万人が訪れています。湯前町では、漫画の町づくりが進められ、有名な漫画家がイベントに訪れてファンと交流したり、漫画家の特別展には県内外から湯前町

を訪れられ、全国から注目されています。隣接した町としてアプローチしていく必要があり、そこに、ふるさと納税が増えるヒントも潜んでいると思っています。これまでするように、本町をただの通過点とさせないためにも電光掲示板や合宿先への特産品の売り込みなどで発信力ある方たちに本町の関心を高めたいと考えています。

ながると考えます。広域的な視点で今後の本町の大きなヒントになると考えます。情報通信技術の進展がどのレベルまで進むかの未来予想はできませんが、企業進出や誘致企業、事業拡大などに伴う工場移転などのチャンスがあった際に、手を挙げることでできる場所、税制面での優遇措置などの条例整備も皆さまの知恵をいただきながら、準備していかなければなりません。

## 夢と希望の持てる町へ

私は、危機感と町のポテンシャルをオープンにして皆さまと共有

し、住民、議会、町職員の皆さまの理解と協力を得ながら、住み慣れた地域での今の暮らしを守り、人口減少と少子高齢化を踏まえて、上球磨の中心としての130年を超える意思を受け継いで、未来を見据え、コンパクトで防災力の高い、安心安全で夢と希望の持てる町にしていきたいと考えています。

キャッチフレーズは「夢・希望・未来ある町に!!多良木アップデート」です。4年間、全身全霊で町政運営にあたりますので、よろしくお願い申し上げます。

## 令和7年度の主な取り組み

### 生活と暮らし

- 町道中島線改良工事
- 町道農田小林線橋梁改築工事
- 町営小林団地1棟4戸の解体
- 口の坪地区町営住宅4棟4戸の建築
- 上水道の老朽管工事、遠隔監視装置改修工事
- 下水道の管路点検調査の推進

### 福祉と医療

- 生活習慣病予防、重症化予防施策の推進
- 熱中症予防休憩所の充実
- 福祉、子育て、高齢者支援の充実
- 多良木学園の運営支援
- 要介護者の重度化予防・機能維持・改善に向けた支援

### 災害と交通対策

- 町民体育館へ貯水機能付き給水管の整備
- 避難所における設備機能の強化
- カーブミラー、ガードレール、防犯灯の整備

### 農林商工業

- 遊休農地の抑制
- 町有林の循環型林業推進
- 間伐の推進、木材の利用促進
- 第二多良木地区、鮎之瀬地区の用排水路改修工事
- 町内商工業の振興

### 地域の活性化

- ふるさと納税の寄附額増加
- 多良木相良遺跡の保護・活用推進
- 青蓮寺阿弥陀三尊を国宝化を目指す

### 教育

- ICT教育の推進
- 各小学校屋内運動場の照明をLED化
- 奥球磨女子駅伝競走大会の開催